



結婚を契機に仕事に対して どのような心境・環境の変化があったか

【ダイバーシティ推進委員会企画】

大上 哲史

はじめに

監査法人に入社し10年目、同期の多くは結婚している中、自分の時間が大事ということで結婚に対して具体性を見出せていませんでしたが、この度ご縁があり、2023年の6月に無事入籍することができました。結婚するかどうかという寄稿依頼も来るのかというのが今回のお話をいただいた際の第一印象でしたが、せっかくこのような場をいただきましたので、結婚を機に私自身の心境や私を取り巻く環境で変化したことについて、皆さんにお届けできればと思います。

仕事に対する考え方、影響

私は監査法人に入社して10年目となりますが、仕事に対する心境変化は少なからずあるなど実感しています。自分にパートナーができたこと、支え合っていく相手ができただけで、月並みですが日々頑張っていこう、何事にも精力的に取り組んでいこうと思えるようになりましたし、同時に大きな責任感も感じています。私は大学卒業後、仕事は監査しか経験したことがありませんが、幾度か転

職を考えたこともあり、辛くなれば退職してどこへなりに行けば良いと、そんな投げやりな考えを持っていた時期もありました。現在は仕事に対してやりがいを感じているため、そのように考えることもありませんが、ただ以前のようになんげなく無責任な、悲観的な気持ちを口にするにはできないなど、時々考えることがあります。

また将来についても、以前にも増して真剣に考えるようになりました。私がこの業界に入った理由は、国家資格を取れば一定水準以上の安定した収入を確保できるという安易な思いによるものであり、公認会計士になって何かをしたいという気持ちは一切ありませんでした。こうして文章を書いている今でも明確な目標があるわけではありませんが、結婚してみると不思議と責任感が醸成されるのか、本当に今のままで良いのかと自問自答する機会が、日に日に増えてきていることを実感します。私の所属する法人には多くの施策や研修制度がありますが、自分の進みたい道を見据え、日々考えている人たちはそれらの存在を敏感に察知し、有効に活用しています。そ

ういった人たちが、例えば社内ニュースや会報で取り上げられているのを見ると、今までのように同じ仕事だけでなく、異なる知識や経験の習得にもっと積極的に取り組んでいこうと、考えるようになりました。今までは周りが成長していくことで自分が取り残されているという漠然とした不安感に右往左往するだけでしたが、今では自分に自信を持てるように、不安感を払拭できるように頑張ろうと前向きに、勇気をもって新しいことに挑戦、取り組んでいると感じています。そういった思いもあってか、最近では今までになかった監査以外の職務への従事や、海外への短期留学の機会をいただくこともできており、大変さや難しさにぶつかることもありますが、仕事面でポジティブな、充実した影響をもらっていると、改めて実感しています。

プライベート面での変化

仕事面での変化と通ずるものがありますが、プライベート面での一番の変化は、時間の流れを以前よりも意識して行動するようになったことだと思います。奥さん

とは共働きですが、朝は彼女の方が早く、夜は私の方が遅いので、平日は自然と話をするタイミングは限られ、夜に集中しています。例えば独り身の時であれば夕食などは、適当な時間に済ませれば良いという感覚で、仕事なりプライベートな時間を過ごしていましたが、今ではできるだけ仕事を効率的にこなして、一緒の時間を設けるように工夫、努力しています。仕事で帰宅が遅くなりそうな時などは、先に夕食を一緒に過ごした後に、仕事をこなすといった以前ではなかったライフスタイルの変化も生じていますが、それは自分の意思によるところなので、むしろ充実、集中して何事にも取り組んでいると感じています。これはもちろん奥さんと少しでも長く一緒にいたいという心情的な部分によるところが大きいですが、一方で子どもができた際の、家族との時間の使い方のことを意識し始めたこと、という側面もあります。同期をはじめ一緒に働いている人たちの中には、夫婦共働きで育児、家事を分担している方々も多くいらっしゃいます。私も表面上では各人が置かれている状況を斟酌し、育休やフレキシブルワーク、時短への理解を示す必要があるとは思っていましたが、どうしても今までは自分には関係ないと感じ、特段の興味を示すことはありませんでした。また自分が大変な時などは言い表せない不公平感を感じていたことも事実です。ただげんきなもの、いざ自分がその立場になりそうになると周りがどうやっ

て時間をやりくりしているのか、どういうところが大変であるのか、社内ですぐいった制度を利用できるのかなど、途端に気になり始めることがどんどん湧いて出てきています。まだ私たちの間に子どもは産まれていませんが将来的には欲しいと話合っていますし、少しでもお互いの負担を軽減し周りに迷惑かけないように、建設的に前向きに考えることができているのは、とても良い傾向だと思っています。家族や親戚からは以前に比べて笑うようになったと言ってもらえることもあり、気恥ずかしい反面、結婚によるプラスな面が出てきている証拠なのかなと、私自身勝手に満足しているところでもあります。

プライベート面で最後となりますが、私たちを支えてくれている、祝福してくれる人たちが数多くいることを感じ取れたのが、結婚して何よりも良かったと思います。それはお互いの家族、親戚は勿論

のこと、友人や職場仲間含め、普段感じるができなかった人の温かさを強く実感できたことでもあります。久しくこれほど祝福されることはなかったため、祝われている側は本当に嬉しいのだなと思えることができ、祝福されている際は何度も頬が緩んでしまいました。

最後に

結婚を機に何が変化したかを総括すると、やはり以前よりずっと前向きになれたことに尽きるのかなと思います。結婚は自分だけでなく、パートナーの人生に対しても責任を持つことではありますが、それは今はやりがいとして私の原動力の一つになっています。私の人生をずっと充実した彩りあるものにしてくれた奥さんと周りの人たち、環境に感謝しながら結婚の次のイベントとして、出産を目標に頑張っていくことを表明して、文章を締めくくりたいと思います。

